

社会資本総合整備計画

勝瀬・ふじみ野地区都市再生整備計画(第2回変更)

平成 30 年 2 月 7 日

埼玉県富士見市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成30年2月7日

計画の名称	勝瀬・ふじみ野地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当	なし					
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）				交付対象	埼玉県富士見市											
計画の目標	<p>大目標：勝瀬・ふじみ野地区における安全で快適に住み続けられるまちづくり</p> <p>目標1：地域における交流拠点の整備による地域コミュニティの醸成</p> <p>目標2：道路ネットワークの強化</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・町会や地域活動への参加状況 ・市道第5101号線道路利用台数 																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (H26年度当初)	最終目標値 (H30年度末)					
	地区内住民のうち地域活動（防災訓練や清掃など）へ参加している人の割合										33.1%	35.0%					
	市道第5101号線を通る1日あたりの車両台数										3,197台	3,800台					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,640.4百万円	A	1,640.4百万円 <small>(うち提案事業分265百万円)</small>	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
1-A-1	都市再生	一般	富士見市	直接	富士見市	勝瀬・ふじみ野地区都市再生整備計画事業	多目的公共施設、バス停シェルター、公園、道路（L=300m）	富士見市						1,640.4			
合計													1,640.4				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

(単位:百万円)

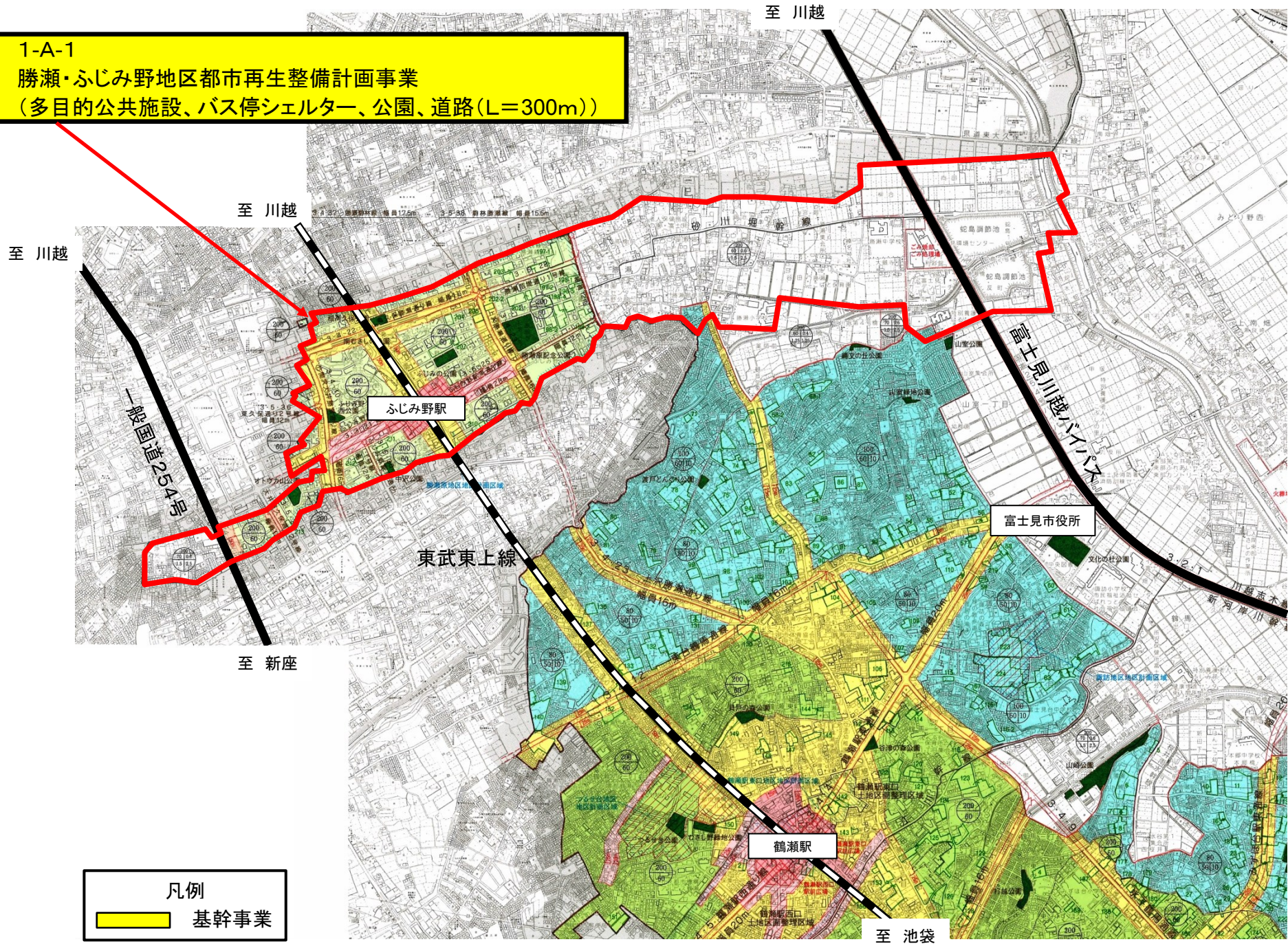
	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	204	36	94	162	60
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	204	36	94	162	60
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	66	49
支払済額 (e)	204	36	28	179	40
翌年度繰越額 (f)	0	0	66	49	60
うち未契約繰越額 (g)	0	0	54	20	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	9
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	57.4%	8.7%	8.2%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	—	—	補償処理の 困難	—	—


※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）

計画の名称	勝瀬・ふじみ野地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）	交付対象	埼玉県富士見市

1-A-1
勝瀬・ふじみ野地区都市再生整備計画事業
 （多目的公共施設、バス停シェルター、公園、道路(L=300m)）



凡例
 基幹事業

社会資本総合整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

かつせ勝瀬・のふじみ野_{ちく}地区都市再生整備計画（埼玉県^{ふじみ}富士見市）

(参考)年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
勝瀬・ふじみ野地区都市再生整備計画事業	多目的公共施設、バス停シェルター、公園、道路	富士見市	1640.4	771.4	80.8	171.0	403.4	213.8
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			1,640.4	771.4	80.8	171.0	403.4	213.8
関連社会資本整備事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
効果促進事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計			1,640.4	771.4	80.8	171.0	403.4	213.8
累計進捗率 (%)				47.0%	52.0%	62.4%	87.0%	100.0%

都市再生整備計画(第2回変更)

かつせ のちく
勝瀬・ふじみ野地区

さいたま ふじみ
埼玉県 富士見市

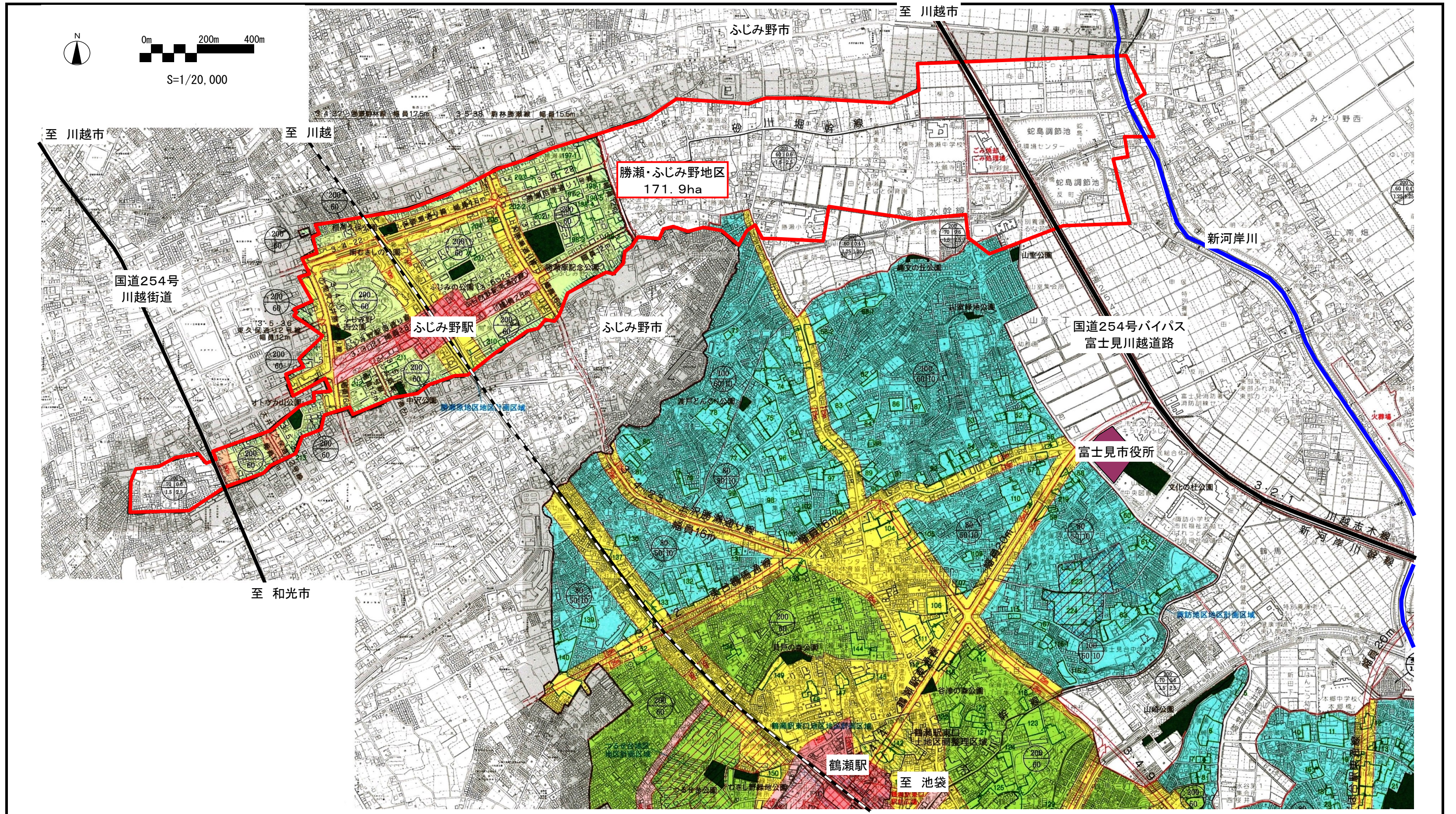
平成30年2月7日

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・【地域における交流拠点の整備による地域コミュニティの醸成】 多目的公共施設(出張所、集会施設、児童館、食育室)を整備することで地区内の新たな拠点とし、転入してきた若い世代間や地区の東側との交流の機会を創出し、地区全体のコミュニティの推進をはかる。 また公園は、地域活動の拠点としての役割も持つことから、より親しみを感じられる施設となるよう整備し、また維持管理を市民と協働して実施していくことで、地域コミュニティへの意識を高める。</p>	<p>【基幹事業】 高次都市施設:多目的公共施設 公園事業:南むさしの公園 【提案事業】 地域創造支援事業:児童館</p>
<p>・【道路ネットワークの強化】 地区の東西をつなぐ道路を整備することで、区画整理施行済地区との道路ネットワークを強化し、より安全で快適な道路環境をつくる。</p>	<p>【基幹事業】 道路事業:市道第5101号線(新設)、市道第5129号線(ふじみ野駅東口駅前広場) 高質空間形成:ふじみ野駅東口バス停シェルター 【関連事業】 道路事業:駒林勝瀬線、勝瀬苗間通り1号線、市道第5101号線(改良)</p>
<p>その他</p>	

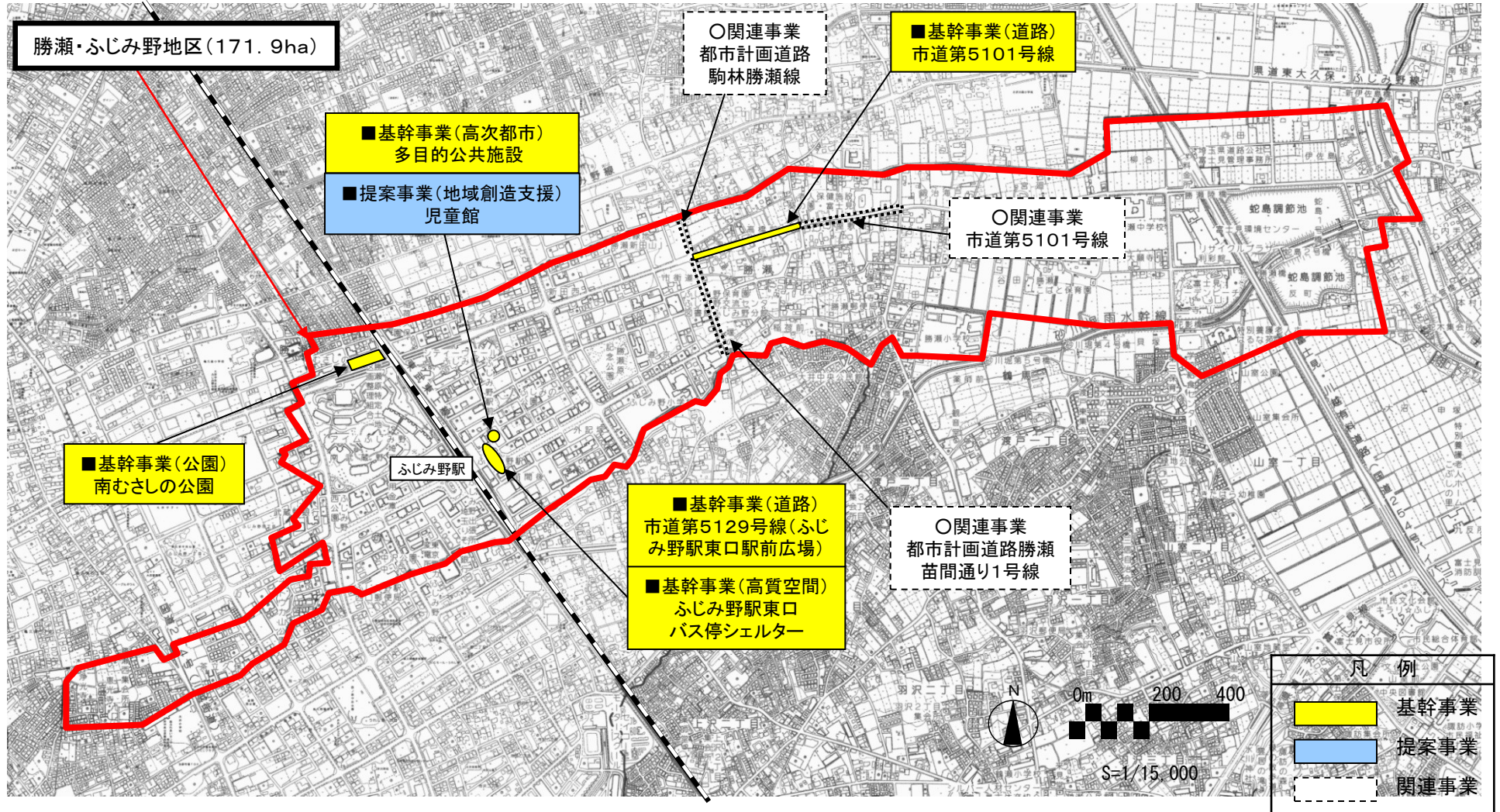
都市再生整備計画の区域

<p>勝瀬・ふじみ野地区(埼玉県富士見市)</p>	<p>面積 171.9 ha</p>	<p>区域 富士見市大字勝瀬の全部、富士見市ふじみ野東1丁目～4丁目、富士見市ふじみ野西1丁目～4丁目</p>
---------------------------	--------------------	---



勝瀬・ふじみ野地区(埼玉県富士見市) 整備方針概要図

目標	大目標: 勝瀬・ふじみ野地区における安全で快適に住み続けられるまちづくり	代表的な 指標	町会や地域活動への参加状況 (24年度)	33.1%	(24年度) →	35.0%	(30年度)
	小目標①: 地域における交流拠点の整備による地域コミュニティの醸成		市道第5101号線利用台数 (23年度)	3,197台	(23年度) →	3,800台	(30年度)
	小目標②: 道路ネットワークの強化		()	()	(年度) →	()	(年度)

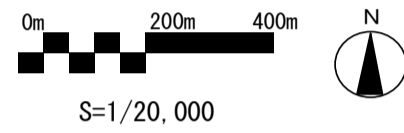


都市再生整備計画の添付書類等

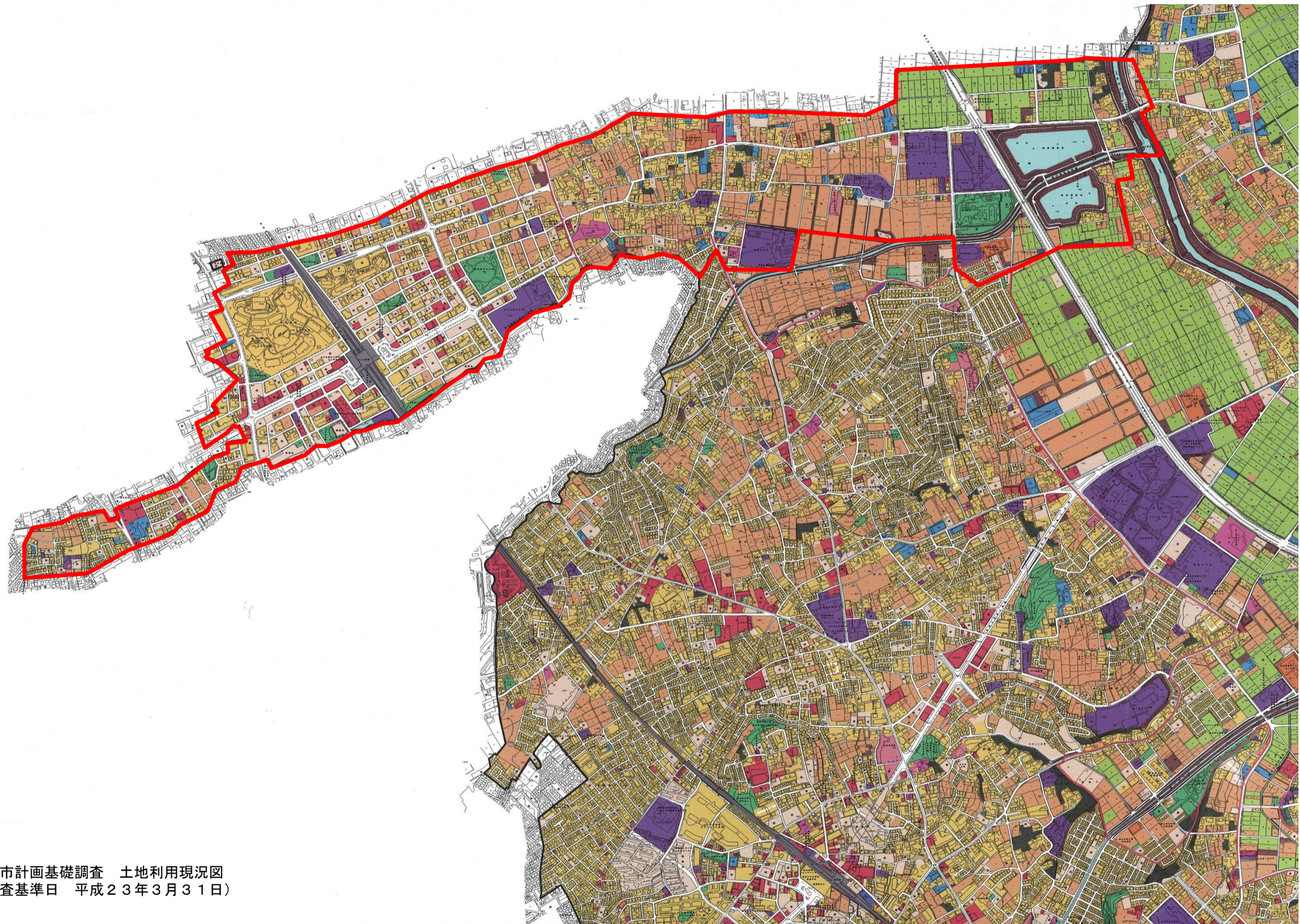
交付対象事業別概要

かつせ 勝瀬・の ちく ふじみ野地区 (さいたま 埼玉県 ふじみ 富士見市)

勝瀬・ふじみ野地区(埼玉県富士見市) 現況図



凡 例	
	田
	畑
	山 林
	水 面
	その他の自然地
	住 宅 用 地
	商 業 用 地
	工 業 用 地
	幼稚園、保育所、病院、 診療所、老人ホームを除く
	幼稚園、保育所
	病院、診療所
	老人ホーム
	処理場、浄水場
	火葬場
	道 路 用 地
	交通施設用地
	公園・緑地、広場、 運動場、ゴルフ場
	墓 園
	その他公的施設用地
	その他の空地
	行 政 界 都市計画区域
	市街化区域



都市計画基礎調査 土地利用現況図
(調査基準日 平成23年3月31日)

交付限度額算定表(その1)

勝瀬・ふじみ野地区(埼玉県富士見市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	656.1 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	66,660.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	656.1 百万円
-------------------------------	-----------	-----------------------	--------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	687,600 m ²
-----------	------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	1,719,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	その他の地域	0.40

Cl	318,245 円/m ²
-----------	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	3
公示価格の平均値(円/m ²)	212,000

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.001
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	1,375.4 百万円
	提案事業(B)	265.0 百万円
	合計	1,640.4 百万円

Ap	313219.56 m ²
-----------	--------------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	265,227	0.15
公園	23,397	0.01
広場	8,002	0
緑地	16,594	0.01
公共施設合計	313,220	0.18

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	63877 百万円
----------------------	-----------

ΣCn	5,564,800,000 円
------------	-----------------

下水道	0 円
区域面積(m ²)	1,719,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	5,564,800,000 円
---------------------	-----------------

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	592,000

調整池	0 円
-----	-----

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
----	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)	超高層	一般
------------	-----	----

北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	66660 百万円
---------------------	-----------

[1]式	$\alpha 1 = 4(A+B)/5 =$	1,312
[2]式	$\alpha 2 = 10A/9 =$	1,528
交付限度額(X)		656.1 百万円

- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

勝瀬・ふじみ野地区 (埼玉県富士見市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	1,375.400	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	656.160	① (国費)
	提案事業合計(B)	265.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	764.111	② (国費)
	合計(A+B)	1,640.400	(事業費)	上記①、②の小さい方	656.160	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.162		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	656.160	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	656.160	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)		執行額を足した額	656.160	⑨ (国費)
					補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	656.160	⑩ (国費)
					補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)				
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行业業費(H)		H (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	656.160	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	1,640.4	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	656.1	⑰ (国費)
				国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業	細項目								
道路		市道第5101号線	富士見市	800.0		11.8	171.0	403.4	213.8
道路		市道第5129号線(ふじみ野駅東口駅前広場)	富士見市	11.7	11.7				
公園				73.2	4.2	69.0			
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設		ふじみ野駅東口バス停シェルター	富士見市	42.0	42.0				
高次都市施設		多目的公共施設	富士見市	448.5	448.5				
中心拠点誘導施設									
連携生活拠点誘導施設									
生活拠点誘導施設									
高齢者交流拠点誘導施設									
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				1,375.4	506.4	80.8	171.0	403.4	213.8

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業		児童館(多目的公共施設内)	富士見市	265.0	265.0				
事業活用 調査									
まちづくり活動 推進事業									
計				265.0	265.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計				1640.4	771.4	80.8	171.0	403.4	213.8
累計進捗率 (%)					47.0%	52.0%	62.4%	87.0%	100.0%

(参考)都市機能立地支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

センター施設必要性(新規整備)

様式5

都道府県	埼玉県	市町村	富士見市
地区名	勝瀬・ふじみ野地区		
センター施設の名称	多目的公共施設		
事業費(百万円)	713.5	延べ床面積(m ²)	964
事業期間	H26		
年度計画(百万円)	H26:713.5(建設)		
事業の熟度	基本設計済み	建設	○ 購入
センター施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次基本構想中期基本計画の主要事業計画に位置づけ ・S造4階建、延べ床面積1,507㎡ ・1階:ふじみ野出張所・厨房・福祉喫茶・軽食スペース 2階:多目的ホール 3階:児童館 4階:食育推進室 		
支援対象	基幹事業:厨房・福祉喫茶・軽食スペース(1F)、多目的ホール(2F)、防災備蓄品収納倉庫(2F)、食育推進室(4F) 提案事業:児童館(3F)		
必要性等	<ul style="list-style-type: none"> ・本地区は東西に約4kmと対象範囲が広く、既設の「ふじみ野交流センター」では地区の西部からでは移動に時間を要する状況である。ふじみ野駅開設後人口が急増し(H5 2,012人⇒H25 13,705人)地域のつながりが特に弱い本地区には、地域の交流拠点や集会施設の整備が必要である。 ・特に地区西部からの住民要望として、既設の「ふじみ野交流センター」では遠いという意見が出されている。 ・本市では中期基本計画において、食育の推進を重要な施策として位置づけ、食育推進条例や食育推進計画の策定に向けた取組みを進めている。食育推進室は、上記計画の拠点施設として整備する必要があり、大学等と連携することで、これまで受動的な利用が多かった調理室との差別化を図る。 ・勝瀬、ふじみ野地域では子どもや子育て世代の割合が高いことから子育て支援体制の充実への要望割合が市内で最も高い(市民意識調査より)。しかし市内の児童館は本地区からは自転車や徒歩での移動はできず、児童館の設置をはじめ支援体制の整備が必要である。 ・既存の「ふじみ野交流センター」は図書館や美術工芸室等生涯学習支援が柱となっているが、本地区の多目的公共施設は、地域内の交流をさらに促進するため食育推進と児童館を有する施設となる。 		
利用見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前立地施設ということで、これまで公共施設を利用していなかった住民にとっても、通勤や通学の途中で気軽に立ち寄ることができるため、オープンスペース・多目的ホールや食育推進室などの利用が見込まれる。また、本地区西部の住民にとっては、既存の集会所以外に活動の空間が広がることになり、既存のふじみ野交流センター利用者との重複は最小限に留まるものとみられる。 ・子どもや子育て世代の割合の多い本地区に児童館を設置することにより、児童生徒の健全育成や子育て世代の交流の場や中高生を含めた世代間交流の場として多くの利用が見込まれる。 		

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備考 注4)
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
市道第5101号線	大字勝瀬1107-1 付近	地	市	-	新設	300		12.00	2	2.5	800.0	H27～H30	舗装工、排水工、歩道、その他	—	道路新設
市道第5129号線 (ふじみ野駅東口駅前広場)	ふじみ野駅東口 駅前広場	地	市	-	改良	31.5	8.50	13.50	—	13.0	11.7	H26～H26	車道、歩道	—	バス停シェルター設置に伴う改良工
	～			-											
	～			-											
	～			-											

(参考)

<関連事業>															
(都)駒林勝瀬線(市道5103号線)	富士見市大字勝瀬地内	市	市	交	拡幅	100	10	15.5	2	2.5			歩道整備	H11.6.4	
(都)勝瀬苗間通り1号線(市道5125号線)	富士見市大字勝瀬地内	市	市	交	拡幅	270	9	12.5	2	2.5			歩道整備	S61.1.10	
市道第5101号線	勝瀬信号～大字 勝瀬1107-1付近	地	市	交	拡幅	270	8	12.0	2	2.5			舗装工、排水工、歩道、その他	—	道路拡幅:交通量 3,197台/12時間

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

* 不足する場合は適宜行を追加すること

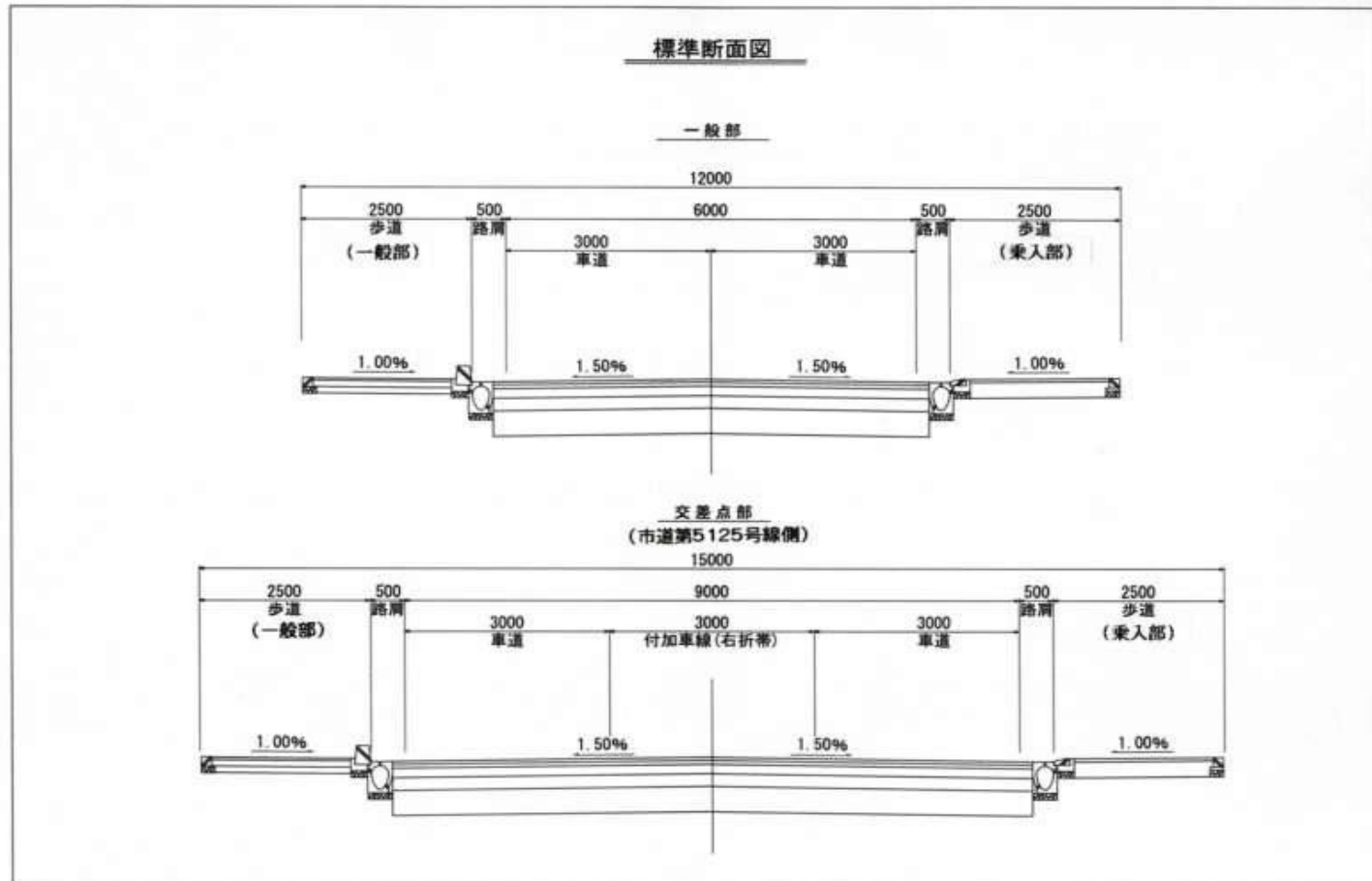
埼玉県富士見市 勝瀬・ふじみ野地区 道路事業:市道第5101号線 新設 計画図



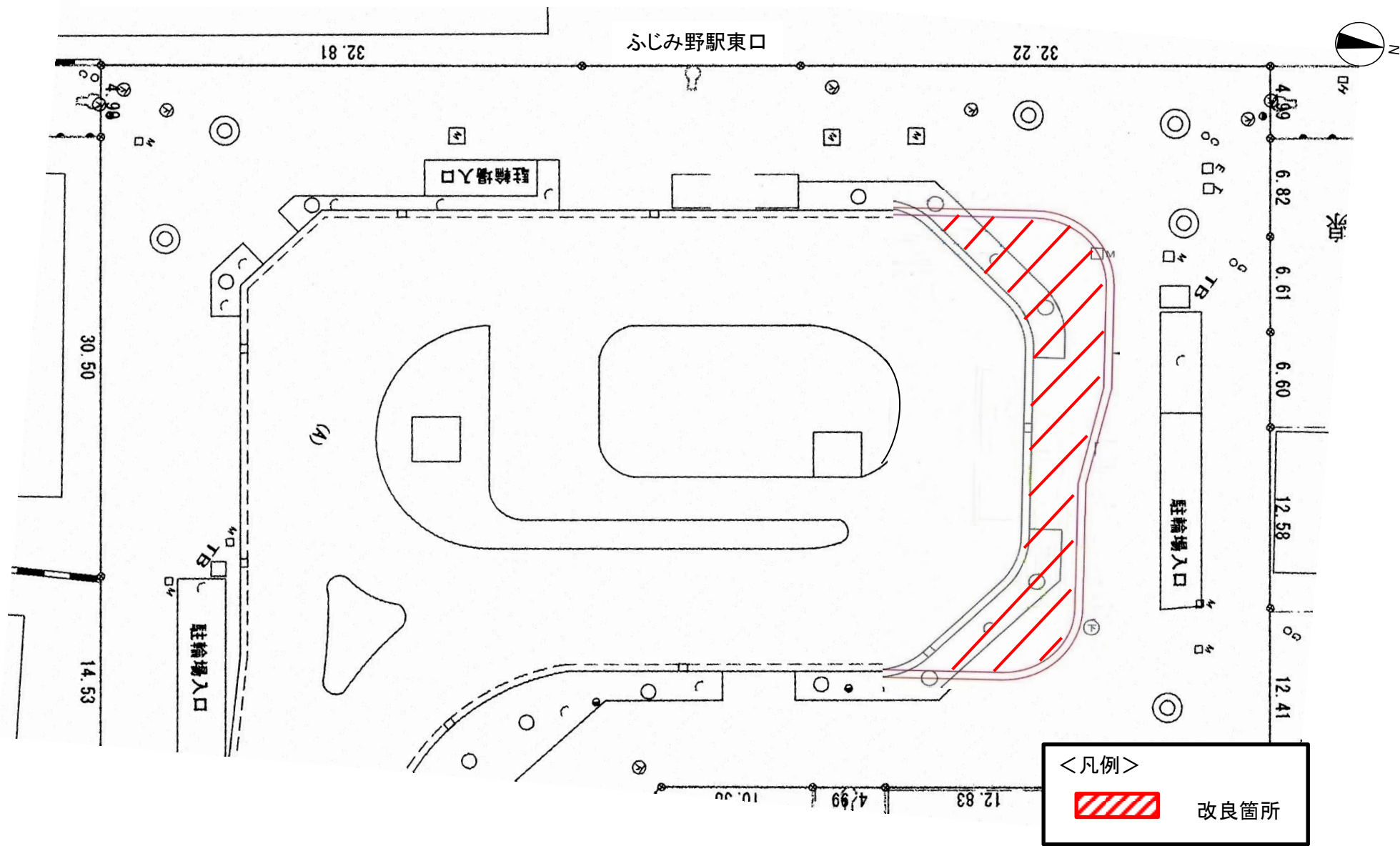
縮尺 1/2,500



埼玉県富士見市 勝瀬・ふじみ野地区
道路事業：市道第5101号線 新設 計画図



市道第5129号線(ふじみ野駅東口駅前広場)改良事業 計画図(案)



公園(都市公園補助事業採択要件外)

公園等名(*1)	種別等(*2)	事業主体(*3)	概要(面積(m ²)等) (*4)	交付期間内 事業費(百万円)	交付期間内事業費内訳			備考(*5)
					設計費 (百万円)	用地費 (百万円)	施設整備費 (百万円)	
南むさしの公園	街区公園	富士見市	2,680m ²	73.2	4.2		69.0	園路、植栽、遊具、トイレ等
合計	—	—	—	73.2	4.2		69.0	—

*1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

*2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。

都市公園でない場合は「無」を記入し、「概要(面積等)」欄に制度上の位置付け(条例設置公園等)を簡潔に記載。

*3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

*4 「概要(面積(m²)等)」欄には、都市公園でない場合に公園としての制度上の位置づけを記入する他、計画面積(単位:m²)等を記入すること。

*5 「備考」欄には整備する主な施設(園路、植栽、あずまや、体験学習施設等)を簡潔に記載。

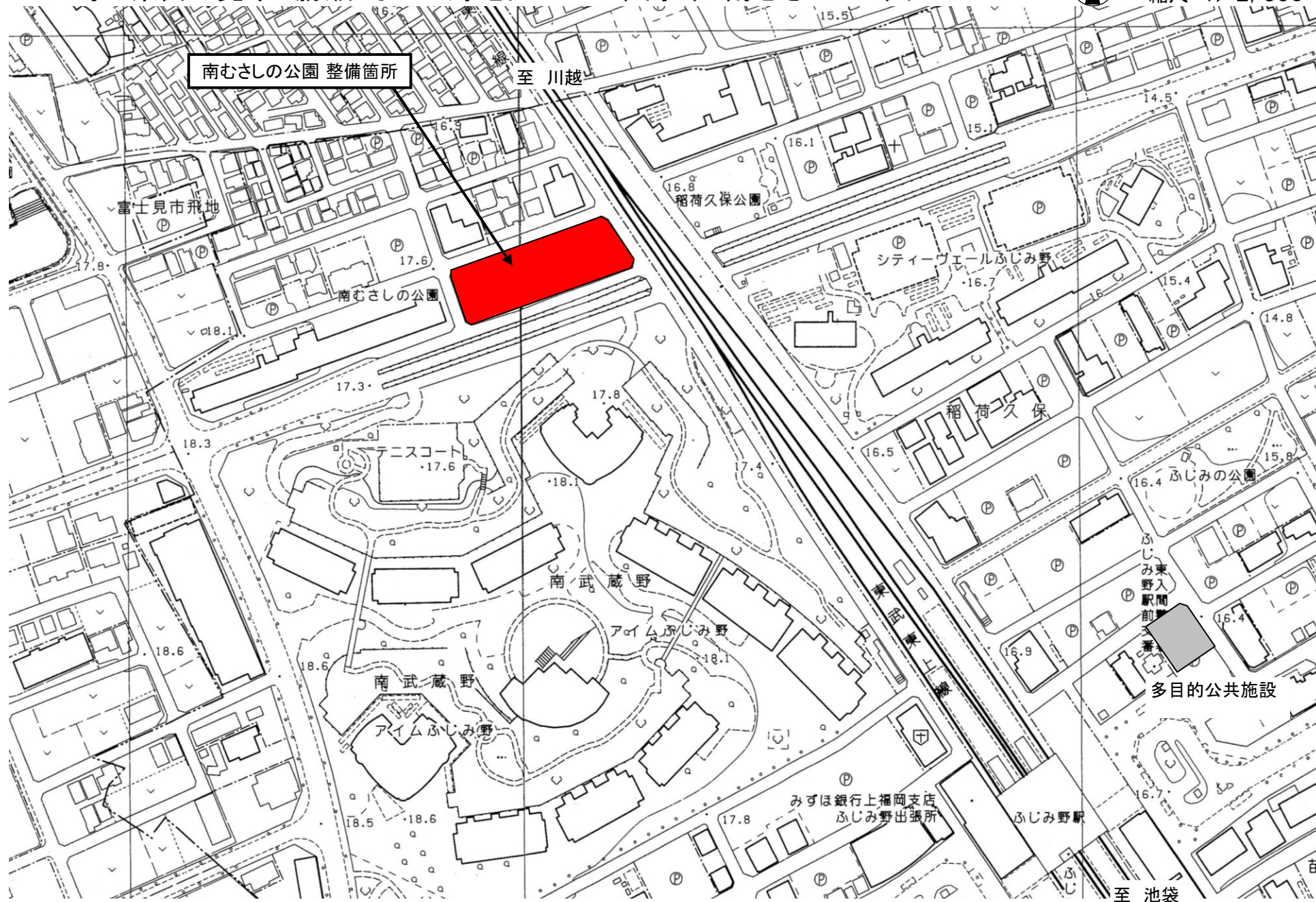
*6 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

埼玉県富士見市 勝瀬・ふじみ野地区

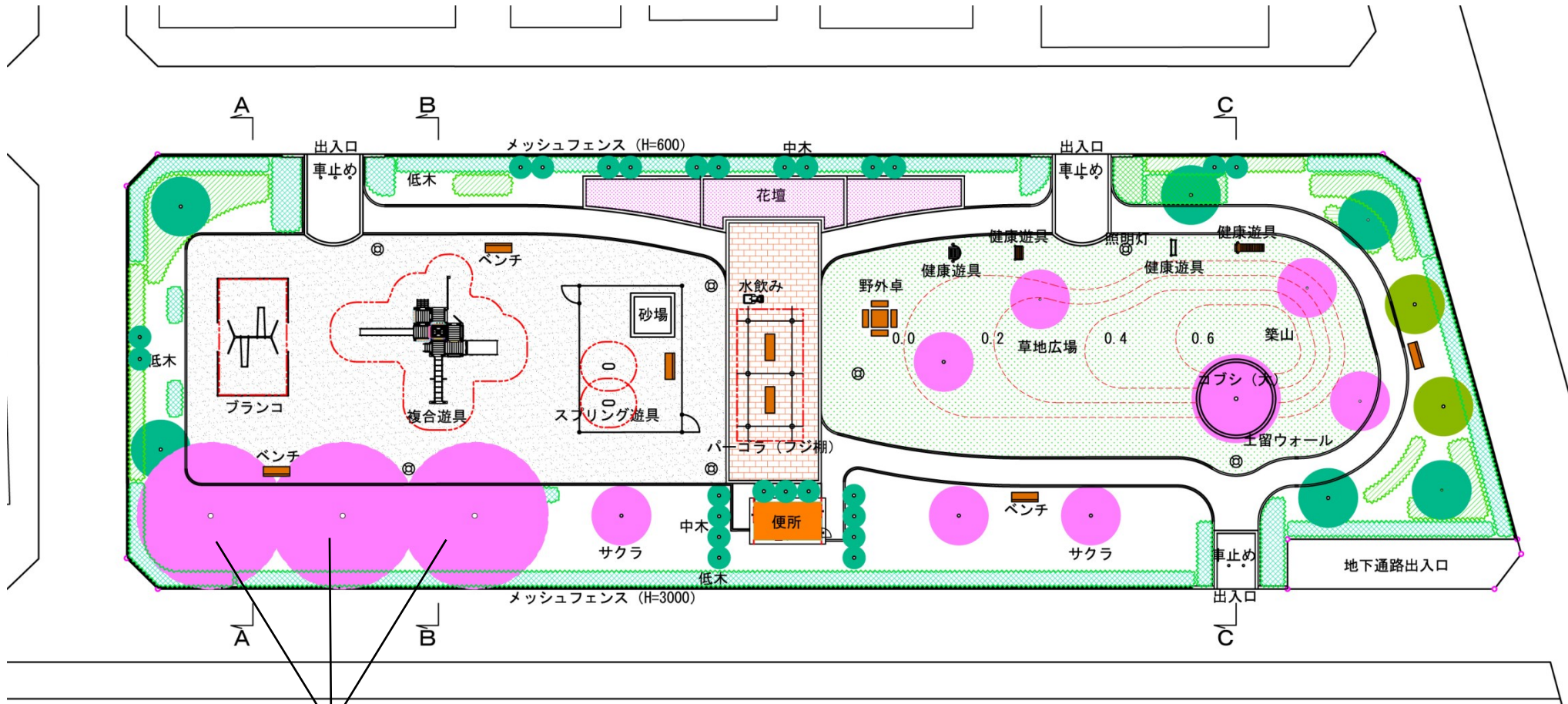
公園事業：南むさしの公園



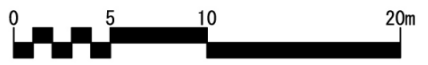
縮尺 1/2,500



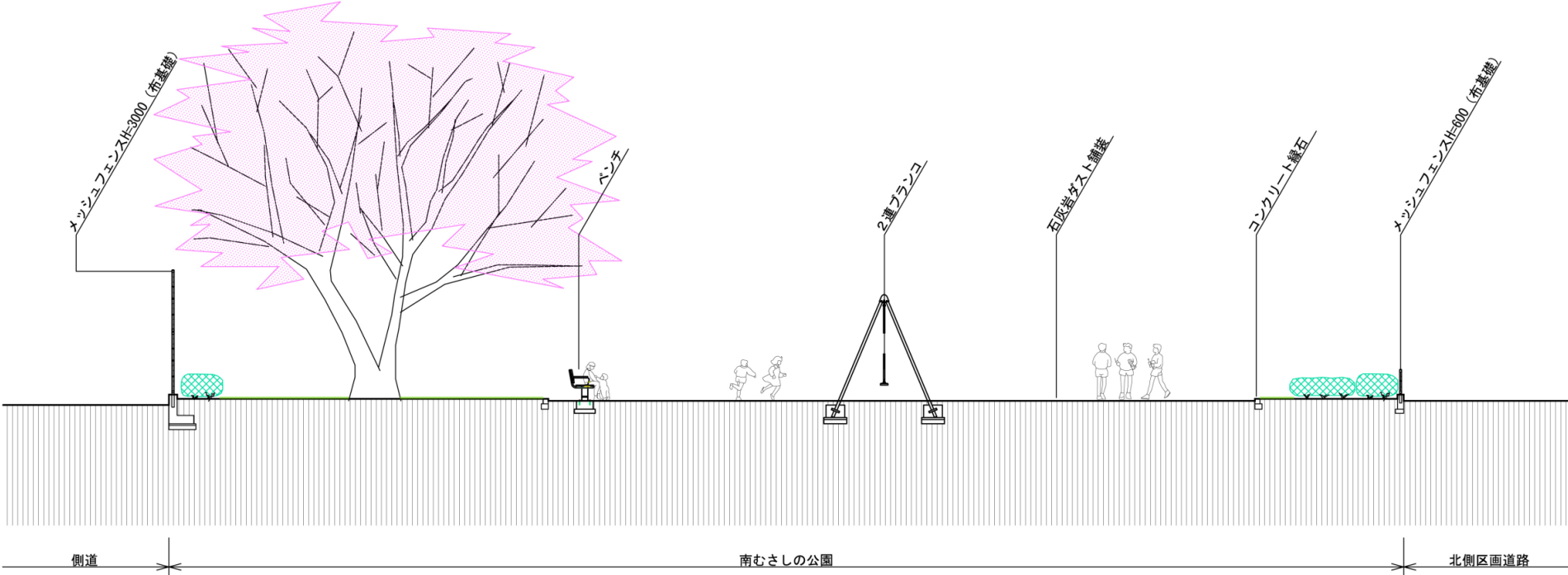
埼玉県富士見市 勝瀬・ふじみ野地区
 公園事業：南むさしの公園 基本設計(平面図)



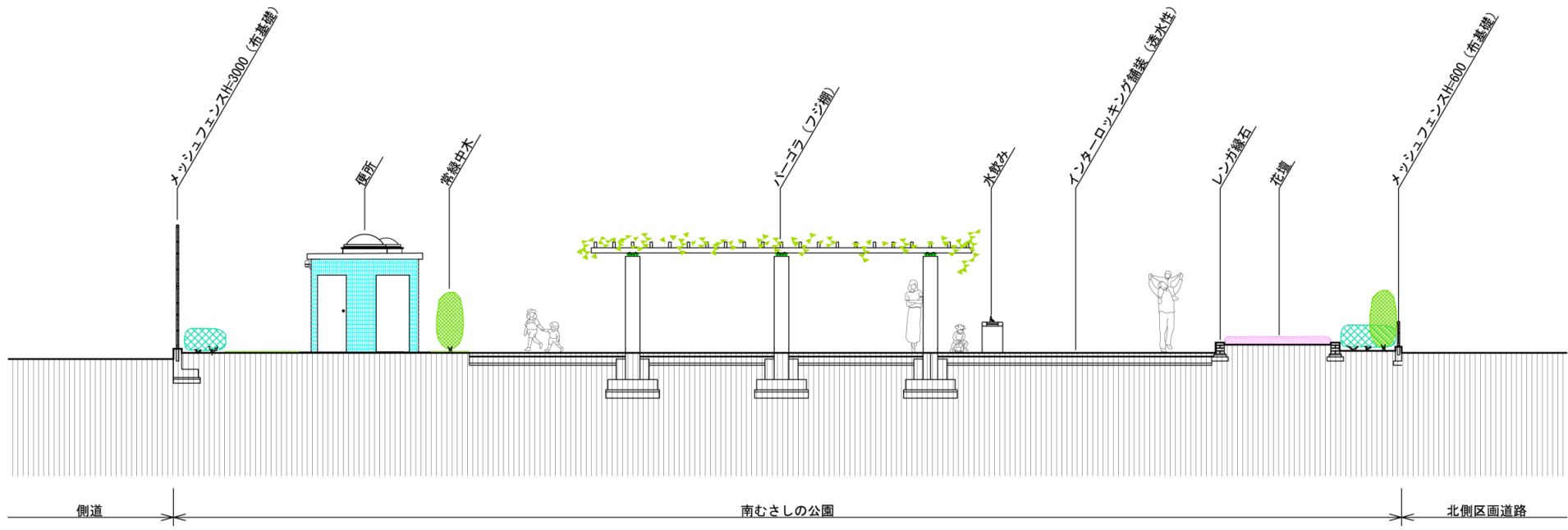
既存の樹木を活用



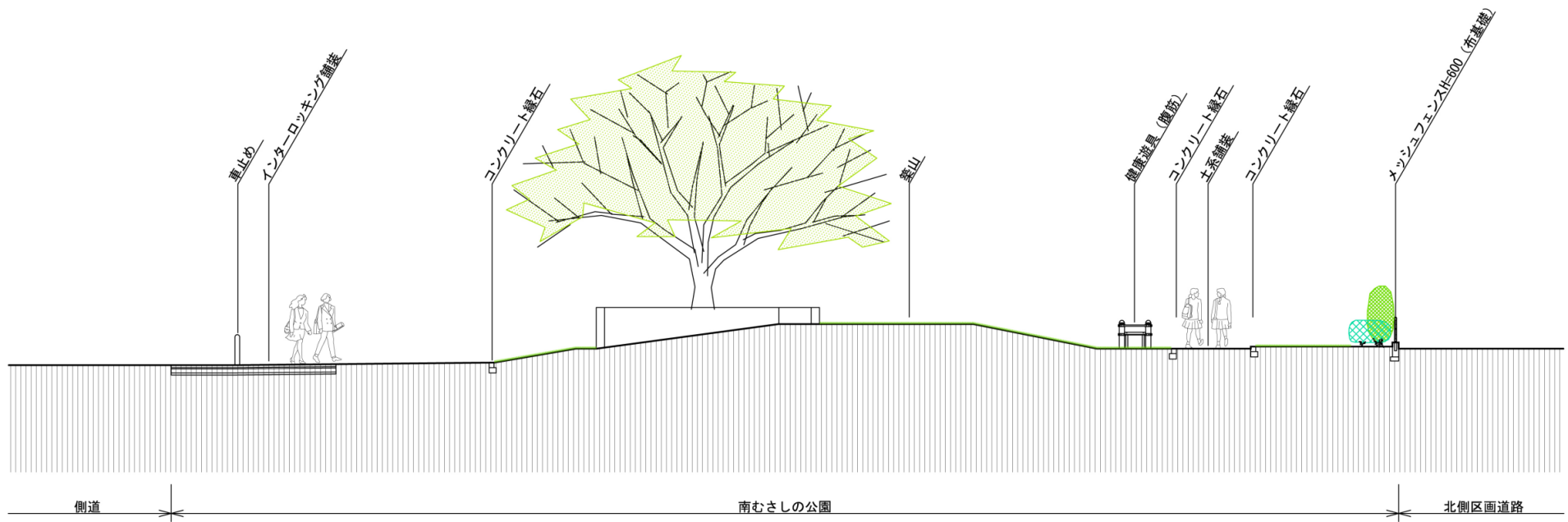
埼玉県富士見市 勝瀬・ふじみ野地区
公園事業:南むさしの公園 基本設計(断面図)



A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図

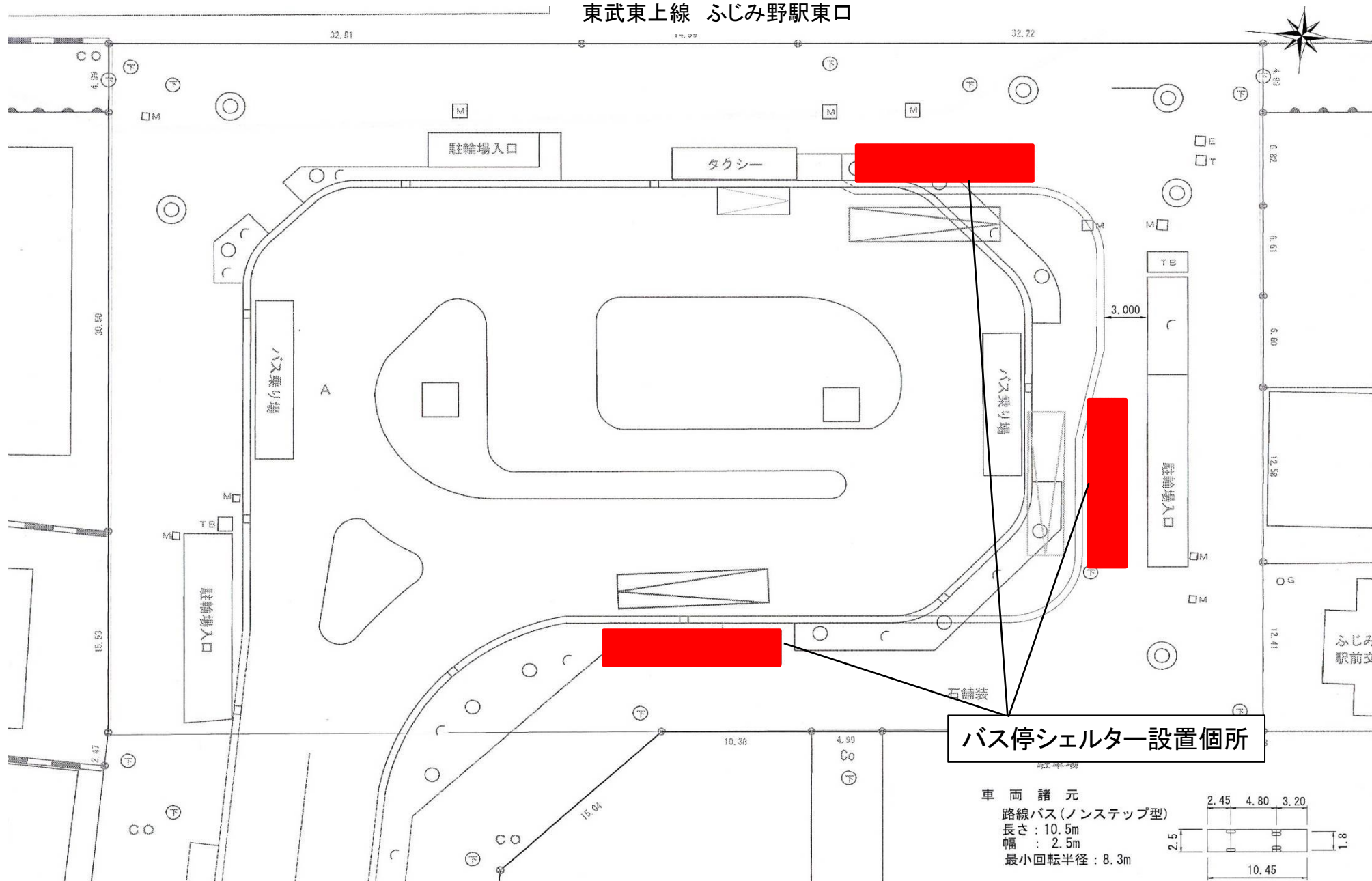
高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・ 緑化施設、せせらぎ・ カスケード、カラー舗 装・石畳、照明施設、 ストリートファニ チャー・モニュメント 等)								
電線類地下埋設施 設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設								
歩行支援施設、障害 者誘導施設等	ふじみ野駅東口バス 停シェルター	富士見市	シェルター3箇所	42.1			42.1	
合計	—	—	—	42.1			42.1	

【埼玉県富士見市 勝瀬・ふじみ野地区 ふじみ野駅東口バス停シェルター 計画図(案)】

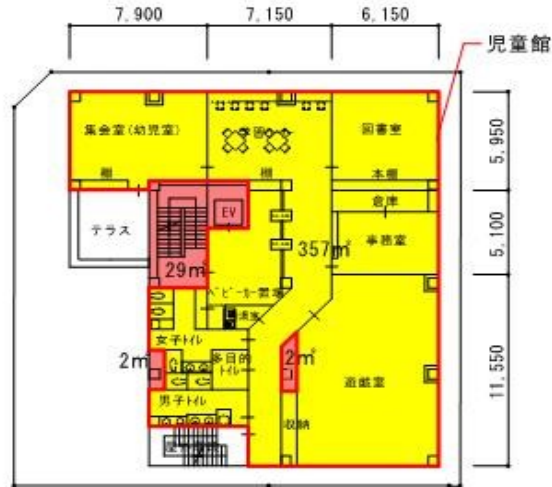
東武東上線 ふじみ野駅東口



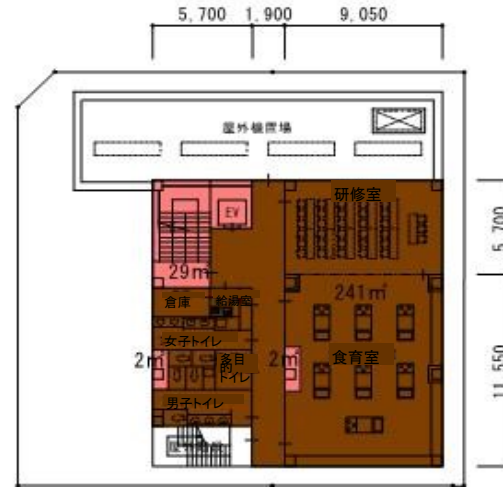
バス停シェルター設置個所



【埼玉県富士見市 勝瀬・ふじみ野地区 多目的公共施設 平面図】



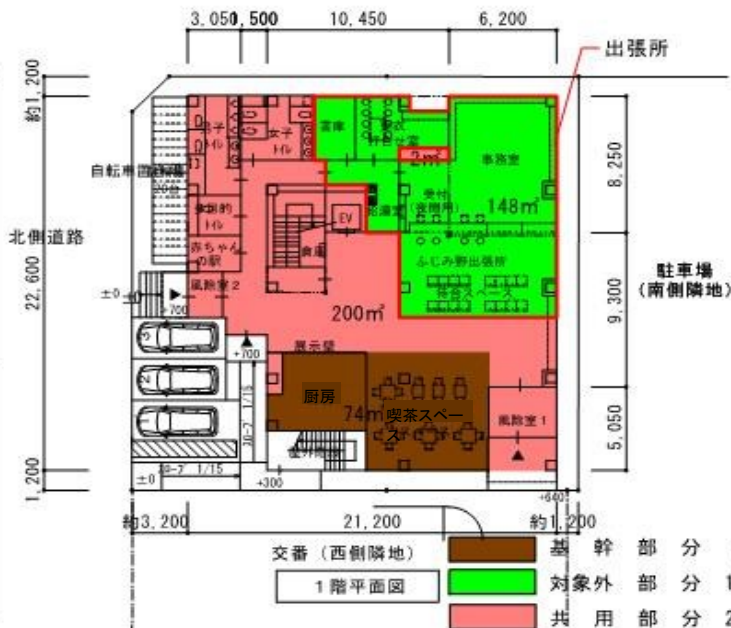
3階平面図
 提案部分 357m²
 共用部分 33m²



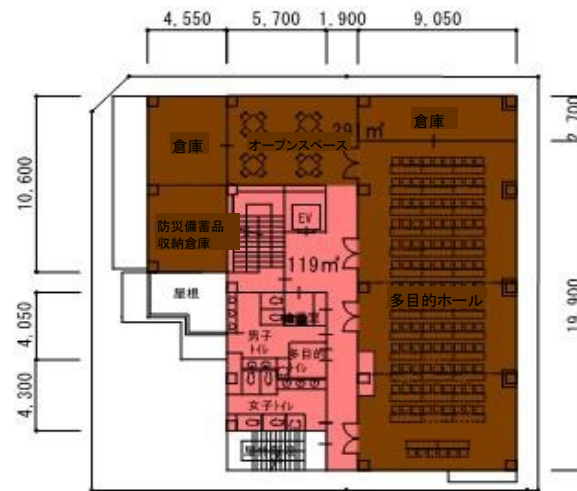
4階平面図
 基幹部分 241m²
 共用部分 33m²



東側道路



1階平面図
 基幹部分 74m²
 対象外部分 148m²
 共用部分 202m²



2階平面図
 基幹部分 291m²
 共用部分 119m²

■ 計画概要

S造4階建	
敷地面積	約 6 3 9 m ²
建築面積	約 4 3 8 m ²
延べ面積	約 1, 4 9 8 m ²
建ぺい率	約 6 9 %
容積率	約 2 3 4 %

■ 施設構成

- 1階 出張所、受付（夜間用）、赤ちゃんの駅、交流喫茶スペース（床面積 約 4 2 4 m²）
- 2階 多目的ホール、防災備蓄品収納倉庫（床面積 約 4 1 0 m²）
- 3階 児童館（床面積 約 3 9 0 m²）
- 4階 食育室、研修室（床面積 約 2 7 4 m²）

基幹事業・提案事業の按分算出根拠

1 対象事業別面積

(単位: m²)

基幹事業部分		提案事業部分		対象外部分		共用部分	
1階	厨房・交流喫茶スペース	73		出張所事務室	148	男女トイレ	209
				更衣打ち合わせ室		多目的トイレ	
				書庫		赤ちゃんの駅	
				給湯室		エレベーター	
				出張所待合スペース		階段	
				受付(夜間用)		風除室	
						廊下、倉庫、PS	
1階計		73	0		148		209
2階	多目的ホール(倉庫含)	290				男女トイレ	121
	倉庫					多目的トイレ	
	防災備蓄品収納倉庫					給湯室	
	オープンスペース					エレベーター	
						階段	
				廊下、PS			
2階計		290	0		0		121
3階			児童館	358		エレベーター	32
						階段、PS	
3階計		0	358		0		32
4階	食育室	243				エレベーター	33
	研修室					階段、PS	
	食育室用倉庫、給湯室						
	男女トイレ						
	多目的トイレ						
4階計		243	0		0		33
合計		606	358		148		395
全体合計							1,507

2 共用部分按分表 (単位:㎡)

	面積(A)	按分率	共用面積(B)	A+B
基幹事業部分	606	54.50%	215.26	821.26
提案事業部分	358	32.19%	127.17	485.17
対象外部分	148	13.31%	52.57	200.57
合計	1,112	100.00%	395	1,507.00

3 共用部分按分表 (単位:百万円)

	按分率	用地費(H26)	工事費(H26)	監理委託費(H26)	外構工事(H26)	備品購入費	合計
	54.50%	137.5	305.4	5.6			448.5
提案事業部分	32.19%	81.3	180.4	3.3			265.0
対象外部分	13.31%	33.6	74.5	1.3			109.4
合計	100.00%	252.389	560.325	10.26			822.974

} 713.5

社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 勝瀬・ふじみ野地区都市再生整備計画 事業主体名: 富士見市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	—
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	—
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

【提出様式】

事業効果分析結果シート

地方整備局名	都道府県名	市町村名	地区名
関東地方整備局	埼玉県	富士見市	勝瀬・ふじみ野地区

○事業効果の分析について

選択欄 (該当するものに○)	事業効果の分析方法	分析結果		
		① 1世帯あたりの事業費を示し、住民の賛同を把握した。	総事業費/世帯 (円)	賛同率 (%)
② 事業全体の便益をCVM法を用い把握した。		便益(B) (百万円)	費用(C) (百万円)	費用便益比 (B/C) ※1
○	③ その他の方法（個別事業単位でのB/C）で把握した。	※下表に記入のこと。		
	④ 交付対象事業費が10億円未満。			

その他の方法（個別事業単位でのB/C）の場合

事業区分	施設名 (箇所名/路線名など)	事業費 (百万円)	費用便益分析の実施状況 (該当するものに○) ※2				便益(B) (百万円)	費用(C) (百万円)	費用便益比 (B/C) ※1 ※3
			継続事業の場合		新規事業の場合				
			A	B	C	D			
道路	市道第5101号線	800.0						1.00	
道路	市道第5129号線 (ふじみ野駅東口駅前広場)	15.0						1.00	
公園	南むさしの公園	85.0	○					1.00	
高質空間	ふじみ野駅東口バス停シェルター	47.0	○					1.00	
高次都市	多目的公共施設	454.0	○					1.00	
地域創造	児童館	268.0	○					1.00	
合計		1,669.00							

注) ※1 費用便益比は四捨五入により小数点以下第2位まで記入

※2及び※3の記入要領

ケース	※2の該当区分	※3への記入方法
A	事業が継続事業で、費用便益分析を実施済みのもの。	費用便益比(値)を記入
B	事業が継続事業で、事業評価制度導入前の採択のため、費用便益分析を実施していないもの(ただし再評価の実施要件に該当していないもの)。	「1.00」を記入
C	事業が新規事業で、それぞれの事業毎の既往の方法により費用便益分析を実施したもの。	費用便益比(値)を記入
D	費用便益分析手法が開発されていないため、費用便益分析を実施しないもの。	「1.00」を記入

○民間投資等による波及効果について

事業名	事業箇所名	事業主体	全体事業費 (百万円)	規模	確認の方法